

# 第1回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会



当法人所属の理学療法士・作業療法士が平成 26 年 12 月 6・7 日に行なわれた山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会に参加致しました。本大会は山梨県におけるリハビリテーションの更なる発展のため、一般社団法人山梨県理学療法士会、一般社団法人山梨県作業療法士会、一般社団法人山梨県言語聴覚士会共催で、全国で初となる 3 療法士会共催の大会でした。

当法人からは理学療法士 3 名が演題発表を行いました。

## 深澤雄希

「当通所型介護予防事業における二次予防高齢者に対する運動機能向上プログラムの介入効果の検証」

## 長沼大

「通所介護サービスを利用の要介護高齢者に対して個別に運動負荷量を設定し、集団体操を行った運動効果について」

## 千葉美幸

「慢性心不全増悪により入院を繰り返す症例に対して包括的アプローチを行った介入効果—在宅医療職の連携を図った症例—」

本大会の教育セッションではテーマに添って 3 療法士の先生方からご講演をいただき、臨床に生かせる多職種連携のヒントを頂いた気がします。急性期病院の先生・回復期病院の先生・介護保険分野で働く先生の講演を聞き、職場間・職種間での連携の必要性を再確認できた大会となりました。